

発行責任者 都立向丘高等学校同窓会  
 会長 小川力洋  
 編集 会報委員会  
 事務局 〒113-0023  
 東京都文京区向丘1-11-18 向丘高校内  
 TEL 3811-2022  
 FAX 3812-4055



切り絵作家  
稲葉祐吉 作

## 同窓会活動のご案内 (やよいい会)

### ■平成15年4月29日 (火・みどりの日)

総会 受付13:00  
 開始13:30~14:15  
 会務・会計決算の報告審議  
 記念演奏会 14:30~15:30  
 出演 東京マンドリン合奏団  
 指揮 明治大学マンドリン倶楽部OB 赤岩大輔  
 曲目 古賀メロデー集・叙情曲集  
 対象 会員、在校生、保護者、一般  
 料金 無料 (お誘い合わせ下さい)

懇親会 15:45~17:45  
 アトラクション (フォークソング演奏、抽選会) あり

参加費  
 3,000円 (但し平成14・15年卒業生は1,500円)

申込方法  
 4月21日 (月) までに同封の用紙にてお振込下さい。

### ■平成15年5月24日 (土)

やよいい会 西日本大会  
 式典  
 受付12:00~ 開始12:30~  
 催物 13:00~  
 本場河内音頭・日舞等披露  
 懇親会  
 13:30~15:30 閉会15:45  
 参加費  
 5,000円 (但し平成14・15年卒業生は3,000円)  
 場所 結婚式場 大黒殿  
 管主 高尾妙弘  
 (旧姓 杉本和子・31年卒)  
 大阪府八尾市本町6-10-1  
 TEL 0729-91-1834  
 FAX 0729-24-3773  
 ※地図参照8ページに掲示

申込・メ切  
 4月末日までに同封の用紙のその他の欄に西日本大会費とお書き込みの上お振込下さい。  
 ※宿泊希望者は同所にて一泊 (朝食付) 4,000円で便宜頂けます。

### ■15年9月28日 (日)

学校訪問会 (ホームカミング会)  
 セミナー 16:00~17:00  
 日本茶の歴史と味くらべ会  
 講師 小高和敏 (S45卒)  
 日本茶審査技術八段  
 (都内にて4名の中の1人)  
 無料 (参加賞の用意あり)  
 懇親会 17:00~18:30  
 参加費  
 2,000円 (要予約、当日払可)  
 場所 母校B棟4階視聴覚室  
 ※母校向陵祭 (文化祭) が9月27日~29日 (PM3:00終了) 開催されます。ご参観後に行います。

総合問合わせ先  
 〒114-0012  
 東京都北区田端新町1-27-11  
 東京都立向丘高等学校同窓会  
 会長 小川力洋  
 TEL3893-9792(代)  
 FAX3893-9793

# 御挨拶

## 誇りの母校 一般人試合格辞退者ゼロ



同窓会長  
小川 力洋

早や咲きの桜は満開の好季節となりました。皆様にはお健やかに暮らすこととお慶び申し上げます。

今年の入試では、冷暖房完備、エレベーター二十人乗り三基付で六階建の校舎、まるでデパートの様。少人数の習熟度別授業、豊富なカリキュラム、「かわいい」と評判の女子標準服があり、大人気でした。

更に二年半前に全面開通した営団地下鉄南北線・千代田線、都営地下鉄三田線を利用して通学ができる。都心でありながら盛場がなく、至極良好な環境が保たれ、生徒・保護者にとつて安心していられる。

石井隆夫校長によると「好環境の中で、伸びびと自分を生かせる学校生活を送ることを目指し、その中で自分で判断し、表現を主張することができる生徒を育成する」と目標を語られていました。

特筆すべきは、この激戦、狭き門の中での合格とあつて推薦は勿論のこと、一般人試においても増枠分十名を含んで辞退者ゼロだったということです。実に誇らしい現象と受けとめ、今後の躍進に期待するところ大であります。

さて前号会報に「全国的同窓会支部等の結成を促す」とアドバリンを掲げましたところ、大阪府の八尾市に在住する、高尾和子・S31年卒、氏から早速快いご協力のお申出を頂くことができました(一頁の西日本大会へ参照)。

たまたま、会長の私と同輩ということもありますが、向丘在籍は三年次の一年間という

僅だったが良友に恵まれ未だに交流が続いており、良き時代の郷愁も重なり、母校愛に燃えているお方です。奉仕精神を第一に、お役に立てることができれば現世の幸福とばかりに、ご自身のお仕事場をご提供下さり、多々ご便宜を願えることになりました。関西方面の卒業生の皆様方には、是非大勢でご参加頂けます様お願いいたします。尚、各地区でのお申し出が生れますことをお願いいたします。ご挨拶いたします。

## 向丘高等学校の取り組み



校長  
石井 隆夫

同窓会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

小川会長を始め会員の皆さまには、向丘高校の教育活動に對しまして、深いご理解とあたたかいご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

向丘高等学校に着任して、九一年になろうとしています。歴代の校長先生をはじめ教職員の方々、並びに同窓生の皆さまが築いてこられた本校の実績と伝統を思うとき、改めて身の引き締まる思いです。

本年度の入学選抜におきましては、学区制度の廃止や、絶対評価の導入等が取り入れられ、危惧しておりましたが、受験生より高い評価をいただき、本校入学志望者の大幅な増加を見ました。

学力検査当日、朝日新聞の記者のこの高校を受験した理由は、とのインタビューに對して、本校受験生は次のように答えています。

① パソコンを取り入れた授業や、フランス語、中国語の選択科目が魅力です。自由な校風も気に入りました。

② 旧他学区の受験です。制服が可愛いし、エレベーターがある校舎の雰囲気もいいですね。交通機関も便利で、女子には人気があります。将来、通訳の仕事に就くのが夢です。外国語を選択できるので志望しました。高校では英語のほか、フランス語を勉強したいです。

これらは全て、先輩の皆さま方が築いてこられました自由の中にも規律ある校風、多様で豊富な選択科目などが、受験生に大きく理解され、先輩の皆さまに深く感謝申し上げます。教職員においても、これらを真摯にとらえ保護者、生徒のニーズに出来るよう日々努力を重ねることの大切さを改めて痛感しているところです。

人間にはあることをするのに丁度良い年頃があります。高等学校教育の目的は、生徒一人ひとりに自分の適性を見つけさせ、将来の志望や職業を意識させること、そしてそのための基礎となる科目を十分に理解させることでもあります。柔軟な思考ができる時期だからこそそれが可能なのです。学校教育の原点に立ち戻り授業内容を厳選すると共に、生徒たちに学ぶ意欲と目標を効果的に芽生えさせるにはどうしたらよいかを真剣に検討することが大切であると教職員に話しています。

このような教育的な取り組みに加えて組織的な改善、たとえば都立高校改革が進展しております。

特に今年度は、学校バランスシートの作成、学校経営計画の策定等、現在集約的に取り組んでおります。これらは全て各校のホームページで公開することになっております。

このことより向丘高等学校の個性、特色をより明確に打ち出し、学校の活性化を図っていきまします。

今後とも同窓会会員の皆さまには、学校運営に資する様々なご意見ご支援をお願いし、また同窓会の益々のご発展を祈念いたしまして挨拶に代えさせていただきます。

## 学校だより



教頭  
清水 ゆかり

「昨年五百五十八人  
今年九百三人」

向丘高校(文京区)の応募者(推薦、一般人試の合計)の伸びはめざましい。推薦入試、特に女子の倍率は12.3倍。都立では指折りの「狭き門」となった。……

平成十五年二月十三日の朝日新聞東京版「激変都立校入試(中)」はこのような出だしで始まっております。

冷暖房完備の快適な六階建校舎、地下鉄三田線、南北線、千代田線の三線からアクセス可能。習熟度別授業、少人数授業の実施や豊富な選択講座等の充実した教育内容。そして自主自立を尊重する自由な校風。さらに学区撤廃が追い風となつて、このように注目を集めることになつたと考えています。都立高校の中で男女ともトップの倍率となつたのは、本校が中学生とその保護者から一定の評価を得ることができたというところであり、今後もこの期待を裏切らないよう教育活動を進めていかねばならないと思っております。

さて、この一年間の本校の動きをご紹介します。

① 学校五日制の完全実施 昨年四月から、土曜日が毎週、休日となりました。男女バスケット、バレー、サッカー、軟式野球部が毎週交代で土曜日に練習をしています。また、不定期ではありますが、数学、英語などの講習も行っています。第一土曜日には、PTAの様々な委員会が活動しており、土曜日でも学校は動いています。

② 公開講座と学校開放 一昨年に引き続き、「パソコン基礎講座」を夏と秋に実施しました。また、「日本の古典芸能入門講座」を十月から十一月の土曜日に五回にわたり開講し、好評を得ました。この講座は今年度も実施する予定です。ぜひ、同窓生の皆様もご参加く

下さい。

施設開放については、テニスコートの開放が毎土曜日の夜間に行われています。地域の祭礼等の行事には、櫓の組立・保管場所として、あるいは駐車場として門内を開放しています。今後は、地域行事等への協力を拡大したいと思っています。

③ 文化祭と生徒会活動 向陵祭は九月二十八・二十九日に行われ、約二千八百名の来校者がありました。特に、中学生の来場者が多かったのが特徴です。文化祭は生徒会及び行事委員会が中心となって運営しています。生徒会は、校内の活動だけでなく、文京区のNPOが行う地域行事への参加、高齢者福祉施設「白山の郷」との交流、難民支援の募金活動等にも取り組まれました。

④ 入学者選抜 学力検査には四百人以上が出席。受検し、男女合わせて二百人が合格しました。本校の定員は男女ほぼ同数ですが、男女別定員の緩和を行っているため、実際の入学者は女子のほうがやや多くなっています。

⑤ ホームページの改定 本校では、平成八年からホームページを開設していますが、このたび、サブドメイン名を都共通のものに変更することから、内容についても大幅に改定しました。学校の今の様子を伝えることができるよう、学校行事の写真等を増やしました。同窓生の皆様のご意見も反映していきたいと思っておりますので、どうぞご意見・ご感想をお寄せください。

総会記念講演から

熱意が通じコロンビア大学院生へ



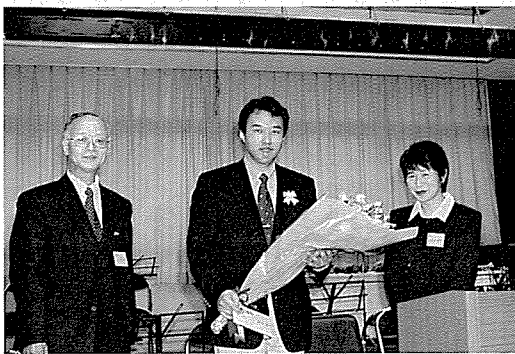
講師 吉松 純 (S52年卒)

彼は向丘在学中は美術を選考していました。クラブ活動もそれぞれ時期曖昧に終わらせ、私たちはそれぞれの道を歩き始めていたのです。月日がたち「アメリカに行ったらいい」といううわさを小耳に挟みながらも「美術はヨーロッパ

パだよなあ」そんな思いを抱えていた私たち。今回の講演で本当の話しを初めて本気で聞きま

彼は今牧師としてアメリカニュージャージーに生活しています。今回はそんな彼が選択したアメリカの受験と教育問題を中心に話されました。日本受験は自分を高めるためにどんなに長い間努力をしても試験当日の体調次第で当落が決まってしまうケースが殆どである（今はAO入試もありますね。しかし最近彼が経験したコロンビア大学大学院の受験は芸術面についての彼の永年の作品を提出したうえで本人が大学院の志望理由とその思いを3日間もかけて面接し、学長が「本人の思いをこの大学院にて受け止める事が出来るか」という事を考えてくれたそうです。こうして彼はたしか「宗教における芸術の・」という感じのテーマだったと思います。この十月から大学院生と牧師という一足のわらじを四十四歳にして経験する事になったそうです。

これは彼の人生の中では突然のことではなく、自分に正直に自問自答しながらたどり着いた結果だと感じました。この後も彼の野望は果てしなく続くのだと思いますが、彼本来の持つて生まれた性格なのか、アメリカの雑多な人種の中で生きてきたからこそ判断出来たことなの



佐々木役員より花束を受ける吉松講師 (H14. 4. 21)

かと思われませんが、同じ向丘の地に共に過ごしていたことだけは私と共通していました。

また、二〇〇一年九月十一日ニューヨークでテロ事件が起き、彼も多くの知り合いを亡くし葬儀も行ったそうです。へども悲しく辛い思いをしたけれども暴力で物事の解決をしてはいけない（そんな思いで彼自身も報復戦争に反対し運動もして来たけれども、現地の教会信者の中には、彼の思いを理解出来ずに教会から離れた人もいた事を聞きました。そしてまた、教育の必要性を感じたそうです。

私は二十五年前に簡単に大企業に就職し四年後に出産退職、現在は別の仕事をしながら大学生と高校三年生の母親をやっています。私が経験した時代と、今の高校生の経験する時代、迎える将来は違うと思いますが、これをチャンスと見て自分を見つめる時間をすこしゆつくりと取って見るのも長い人生の中では必要なのではないでしょうか。

私も自分の人生・視野をもっと広げないといけないなと思いました。吉松君ありがとう。これからも自然体で頑張りましょう。

S52年卒 関本 知恵記

「ニュースな話」を聞いて

ホームカミングデー講演会



講師 粕谷 卓志 (S46年卒)

平成十四年九月二十九日(日)、母校でホームカミング会が行われ、「ニュースな話、取材余話」との演題で、昭和四十五年卒業された粕谷卓志氏の講演がありました。

その彼は、私の高校時代とても目立った存在で、記憶では「生徒会長」でしたので、講演前、思わず私は、「当時、生徒会長をされてましたよね?」と何の疑いもなく話し掛けてしまいました。

ところが、帰ってきた答えは、「いいえ、行事委員長です。」とのことで、驚きました。とに



H.C.講演会参加者 (H14. 9. 29)

かく、小さな存在である私が「生徒会長だ」と思ってしまうほど目立った存在で、お見掛けする時はいつも、忙しそうに階段を二、三段飛ばして掛け上がり、校舎中を走り回って居られたように記憶しています。

その方がお話の中で、「高校時代から新聞記者になりたいと思っていた」と話されるのを聞きながら、私は当時のお姿が思い出され、なるほど...と納得出来る気がしました。

さて、お話は多岐にわたり、又とてもわかりやすく興味深いものでした。

\*新聞は読みづらい、と若い人には敬遠されがちだが、関心のある記事だけ読めばいい。

\*記事をスクラップするため新聞を切る時は、はさみは要らない! 縦目にピリッと裂けば良い。

\*「夜討ち朝駆け」の思い出:夜遅くまで事件の現場に詰め、朝は又早朝から現場に詰め、睡眠は取材が終わって社に戻る車中であっていたので、いつも睡眠不足!

\*警視庁記者クラブに詰めていた頃の思い出  
\*編集後記を担当していた頃の思い出

現在は、朝日新聞横浜支局長をされデスクという立場です。現場に出る事はないそうですが、この「デスク」という言葉についても説明して下さいました。

私達は、この言葉はかろうじて聞いた事はあるものの、明解な意味は知らずにきていましたので、さまざまな苦勞を理解することができても興味深いものでした。これ以外にも、よく聞く専門用語について、わかりやすく話して下さいました。

充実した六十余分でした。多くのご苦勞をさされてきたにも拘わらず、エネルギーでバイタリティを実感させられました。

又、「夢を持ってそれに向かって努力すれば必ず叶えられる!」ということを教えて頂いたように思いました。

これらを、心の糧としてこれからの人生に光明あれと期待したいものです。

S46年卒 笹山 幸子記

### 活動だより

#### 長田英方顧問益々お元気!! 第六回演劇部OB会報告



S30年卒

三谷 一郎

平成十四年七月六日銀座黒豚料理の店で二十名の仲間が集い、今年も賑やかに演劇部OB会が開かれた。齢七十代の先生や先輩から五十代の働き盛りの世代まで幅広い年齢層が集いお互いの無事を確認しました。力強い五重塔の心柱を感じさせる長田先生の元氣さから一同活力を頂きました。

先生は「阿弥陀如来・不動明王・達磨大師等の彫刻を「彫慶会」で発表されています。油絵も上野東京都美術館で「清興展」に三十

号程度の作品を出品され、仏を木から掘出す指先の技と絵画への情熱を表現されています。

演劇部OB会も六回を重ねました。出席者が八名の年や二十九名の多数の年もあり変化に富んでいます。皆が自由に伸び伸びと会話を交わせる雰囲気は長田先生のお人柄と人徳からの魅力なのでしょう。

参加者の大部分が多様な仕事の現役であり、豊富な知識が会話の内容を盛り立て、単なる高校時代の回想の場でない知性を教えてくれます。学びの庭で同じ空気を呼吸した温もりが本場に「心の老い」を感じさせない豊かさと強さを与えてくれます。酒を飲み料理を飲みながら最高のOB会が続いています。

毎年不思議と評判が伝わるのか初参加者があり華を添えてくれます。初回から銀座に拘っていましたが今年は池袋に会場を設定の予定です。常連だけでなく新人の飛び入りを是非お待ち致します。



第6回演劇部OB会 (H14.7.6)

#### 恋心を懐かしみ

#### 昭和三十四年卒三年A組クラス会



S34年卒

佐山

周

連絡先 Tel/Fax 03-3532-7480  
E-mail fwin5679@mb.infoweb.ne.jp

二年前、三十年ぶりのクラス会を開いた時「また早い機会に」という要望があったのに応えて、二月二十一日(土)東京・新宿の「乃の木」で昭和三十四年三月卒業の三年A組(中村忠学級)クラス会を開きました。向丘卒業後もう四十数年。お互い還暦を過ぎ、オジイチャン、オバアチャンと呼ばれても少しもおかしくない年齢になり、毎年に昔の仲間が懐かしくなってくるからでしょうか。今年も女子十四人、男子六人(高校時代の言い方で言えば)の計二十人が集まりました。長いことじつと見えないと思えないほど変わってしまった顔もあれば、昔と少しも変わらない(?)顔、密かに恋心を抱いていた人の顔……いずれにしても懐かしい顔でいっぱいです。すぐに高校時代にタイムスリップし、ワイワイガヤガヤと昔話に花が咲き、近況や孫の話などで盛り上がりました。

予定されていた二時間はあっという間に過ぎ、最後に次回の要望を語りましたが、何と二年に一回では少ない、毎年やって、という声が多く、次回は来年三月頃に、と決まりました。今回の幹事を務めた不肖私と、名簿作成に協力してくれた植山君がそれぞれ次回も責任を持つことになって、今回でお役ご免と思っていた私は思惑が外れ「困ったなア」というのが本音です。でもまあしょうがないか!次回はこれまでも出られなかった人が一人でも多く出られるように、今回以上にたくさん集まるようにしようと思っています。

#### 同窓の絆・図書室から発信 ひとつの提言



S36年卒

田中 正明

同窓会で、私の編者書三冊をご購入下さり、母校の図書室に寄贈して下さいました。有難いことだと思えます。小川力洋同窓会会長からの要請があり、また日ごろ私自身考えていることでもありますので、このことに関連して、少しばかり記させていただきます。

母校向丘高等学校の卒業生は、一万名を超えています。私もその中の一人ですが、春、新聞に掲載される入学希望者の応募状況を目にし、秋、母校を訪ねて文化祭時の熱誠さに触れ、母校が益々隆盛に向かっていることを実感しています。いずれも喜ばしいことであり、深い感慨を覚えるのです。

しかしながら、卒業生と在校生という、それ

それぞれの立場に立って考えてみたら如何でしょうか。確かに向丘高等学校に学んだ、あるいは学んでいるということでは共通点を持つているのですが、両者の関係は稀薄であることを認めざるを得ません。それはかりか学校としても、卒業後の動静はあまり掌握していないのではないかと申すのです。

私が在籍したクラスでは、定期的にクラス会を行っております。近況を報告する場を毎回持つのですが、活動分野や職種は多岐にわたり、社会の状況を投影した発言もあるのです。一つのクラスだけでもこのような体様なものですから、一万名を超える卒業生の動静については、多言を必要としないのではないのでしょうか。また、私は同窓会の役員に名前を連ねさせていただけでおります。その関係で学年(世代)を超えた方々とお話しをさせていただくことが多くあり、ここに記したような事柄を実感する場が少なからずあります。

以下、話を簡潔に纏めたいと思います。指摘したような稀薄な状態を、様々な機会を捉え、且つ創意と工夫を凝らして些かなりとも改められないかと言ふことを提言したいのです。

此の度の営為はその一つの形と思われるのです。因に、書目は①『柳田國男 書日書影集覧』(B五判 六二四頁)、②『柳田國男 私が歩んできた道』(A五判 四三六頁)、③『柳田國男 書物』(A五判 四二四頁) いずれも岩田書院です。取り組んできた事柄の一端を、後輩である在校生に伝える機会を与えていただけたいことを嬉しく思いますと共に、同窓生の皆様と同様に、体験したり積み重ねてこられた事柄を、後輩に向けて発信することが出来たらと考えるのです。容易ではないと思いますが、そのような意識を持つて一歩を踏み出すならば、開陳された体験や業績は、在校生に身近な事象として受け止められることでしょう。そうして、学校生活の様々な側面での活用が僅かなりとも図られるならば、関係が次第に緊密になり、副次的な効果をも期待することが出来るのではないかと願うものです。

### ぶらり友を訪ねて 足利へ十一人会



S 41年卒  
尾道 郁代  
(旧姓 大橋)

八月二十五日、暑い夏の日曜日でした。上野・赤羽・久喜で合流し、足利駅で下車しました。十人そろって同期生の経営している足利の料亭をめざしました。渡良瀬川の橋を渡り、足利学校を通り抜けしばらく歩いていくと着きました。料亭を夫婦で営業しているので同窓会や同期会があつても出掛けられないとのこと。

お座敷に通されて、食前のビールのおいしかったこと。もちろん食事も美味しかったです。話はずみになりました。あまり長居していても営業のお邪魔なので二時間程で別れをしました。足利駅から四駅電車で行くと大平下駅で下車しました。駅のすぐ前がぶどう園で、ピオーネと巨峰の試食をして、ぶどう狩りをしました。地元のおじさんとおばさんと世間話をしておみやげのぶどうピオーネと巨峰を両手に下げて帰路につきました。

帰りの電車の中でも学生時代の話やその後の友達の話などが尽きません。早朝から千葉や茅ヶ崎から出掛けて参加した人もいて楽しい一日を過ごしました。学生時代のことを思い出すとあのころの希望に胸ふくらんでいた頃のことと同時に思い出す

### 十人十色・問題集



S 47年卒  
佐々木郁子  
(旧姓 遠野)

からでしょうか。皆さんに元気をもらって帰ってきました。

あまり楽しいニュースのない昨今ですが、私の同級生達は、今どんな暮らしをしているのだろうと考えて、簡単なアンケート調査をしました。サンプルは十名、現在四十八歳か四十九歳の生活を想像していただければ幸いです。なお、紙面の都合で、とりあえず連絡のついた十名に選んで質問させていただきました。特に意識して選ばせていただいた訳ではありません。

協力して下さった方々は、突然の電話にもかかわらず、一生懸命考えて下さいました。貴重な時間を使って下さって本当にありがとうございます。また、掲載はアイウエオ順で、全員旧姓、敬称は省略させていただきました。

- 質問
- 一、今一番ほしいもの
  - 二、最近読んだ本
  - 三、最近見た映画
  - 四、最近一番うれしかったこと
  - 五、最近一番くやしかったこと

飯田秋子

- 一、時間
- 二、「模倣犯」(宮部みゆき)
- 三、「オースティン・パワーズ」
- 四、子どもが大学に入ったこと
- 五、子どもが大人になれないこと

- 岸 伸子
- 一、今より大きなオープン
  - 二、「天の瞳」(灰谷健次郎)
  - 「招かれざる客」(アガサ・クリステイ)

「飛蝗の農場」(ジェレミー・ドロンフィールド)

- 三、「ロード・オブ・ザ・リング」
- 四、小学校時代のクラス会をやるかどうかという話があること
- 五、くやしかったことがあったのかどうかを忘れてしまったことは、嬉しいのやらくやしのやらです。

高橋淳子

- 一、田舎の一軒家
- 二、「さよならを言う前に」(メアリー・H・クラーク)
- 三、「ロード・オブ・ザ・リング」
- 四、いろいろな人に出会えたこと
- 五、腱鞘炎で手が使えなかったこと

Y・T

- 一、健康
- 二、「自分を磨く」(井上和子)
- 三、「千と千尋の神隠し」
- 四、子どもがよく手伝ってくれること
- 五、特になし

西美智子

- 一、有給休暇
- 二、パッチ・アダムズのインタビューについて書かれた本
- 三、「スター・ウォーズ・エピソード2」
- 四、職場が法人格になり、建物も新しくなったこと
- 五、新しい職場に入ってきた人が四ヶ月でやめちゃったこと

日東寺悦子

- 一、時間
- 二、「草思」(月刊誌)
- 三、「フェノスアイレス」
- 四、特になし
- 五、子どもが大学に落ちたこと

本庄啓子

- 一、若さ
- 二、朝日新聞



絵手紙・郁代書

三、「アイス・エイジ」  
 四、子どもが少林寺拳法をやりがつてくれたこと  
 五、特になし

三好恵子  
 一、お金

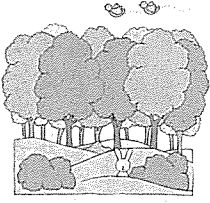
二、「自分のための生きがい」(新渡戸稲造)  
 三、「海辺の家」  
 四、家族で横浜に出かけて、海を見て食事をしたこと  
 五、パソコンのエラーが直せなかったこと

柳本宏子  
 一、時間  
 二、「ハリリー・ポッター賢者の石」  
 三、「ギャング・オブ・ニューヨーク」  
 四、仕事先で後輩に慕われていること  
 五、今までの服が着られなくなったこと

横山晴美  
 一、時間  
 二、「肩の恋人」(唯川 恵)  
 三、「ハリリー・ポッター賢者の石」  
 四、秋田県の乳頭温泉に行ったこと  
 五、特になし

最後に十一人目になりますが、答えていただくばかりで私が答えないのも失礼なので、追加で私もお答えします。

- 一、私の書いた童話を買ってくれる出版社
- 二、「陶芸家十二ヶ月」(カレル・チャペック)
- 三、「燃ゆる月」
- 四、「ワイルド・ユー・ダンス」(ジャニス・イアン)の入ったCDをゲットしたこと
- 五、中国語検定四級に不合格したこと



M.F.L.S. O.B.B.A

S 52年卒

関本 知恵  
 (旧姓 国広)

先日九月二十二日(日) 四代根本六代小島両先輩の呼びかけでOB会を開きました。会場は定番五代萩原先輩のライブハウス「ピア」(東新宿)。時間帯は十四時から終電までという長丁場。さまざまな生活環境のメンバーに合わせてもらいましたが、御彼岸のせいもあったのか出席者は二十二名とちょっと少なめでした。集合時間を守った人は四人(私も遅れた)しかいなかったのに、終了時間を守った人がなんと律儀に二十人もいたことには今更ながらあきれ・いやいや安心しました。



総会アトラクション出演風景

持ち寄り大歓迎ということでおすすり料理や職場の売り物そして自慢の銘酒を持ち寄り、ピクは十九時をすぎたころだったかなあ?

今回は今年四月の同窓会に「アメリカ生活を送る牧師の多難な生活振り」とアメリカの教育事情などをテーマとし講師参加した七代吉松君の記念講演ビデオと三十代四十代のCMソングの検証・という二題テーマを用意しました。

しかしながらその空間は「せんばい・ゆ・び・が」とつぶやきながらも、「お前しか・弾けるやつねえだろ」と言われ、泣き泣き指を動かす十一代吉川君の途切れないギターをつま弾きをBGMに飲みまくり、しゃべりまくりそして、時々・歌い・あつと言う間の大騒ぎの一日となりました。

振り返って見ると『ああ・あの先輩いつ帰ったんだろう』『あの誰だっけ?』今回集まったのは三から十二代と年齢の幅は十年だったので知らない人がいるのは当然です。また今回は十二代に初参加メンバーなんと彼女は豊島区の中学で音楽教師をやっているそうなので、こうやって集まりをつづけていくことで、OB会の名簿のように徐々にメンバーがふえてくれると、嬉しいと思います。

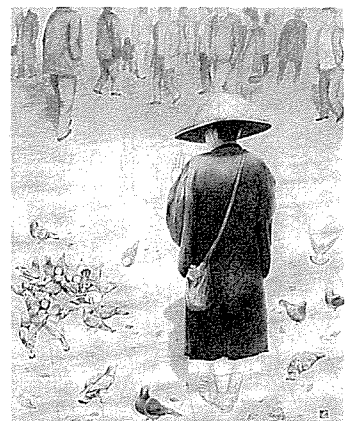
こうして、今回の宴は終了したのですが、有志の中では「私たちがあの坂を登れなくなるまで・もう歌わないでくれと言われるまで・」向丘の同窓会で歌を歌い続けたい。と言う決意表明をしました。

来年は音楽教師のピアノ伴奏も加わります・お楽しみに・

ひろば

水墨画の斬新な試み

アートジャーナルをご存知ですか。現在日本美術界では権威のある雑誌です。昨年十月発行号は、芸術文化功労賞を授与された受賞作品の特集号でした。その中に向丘四期(S二十七年卒)大河内雄四郎さんの名がありました。受賞者二十六名のなかでただ一人、水墨画での受賞



大河内雄四郎氏の受賞作品

の方です。

今回の受賞作品は現代の人間が抱える、心の平安をどこに求めればいいのか、というテーマを表現されているように思います。

その作品評の筆者は美術評論家の佃堅輔氏。法政大学教授、近代美術の第一人者(本校卒業生ではありません)で作品を見る眼は確かで著書も数多く物しています。「水墨画の斬新な試み」と期待の言葉を下さいました。大河内さんは日本人画評議員でもいらつしやいます。

やよい会員のご活躍を伺うとき同窓会に關つていてよかったですと心から思うのです。門外漢の私も今後のご活躍を期待を込めてお待ちしております。

時代の背景



S 31年卒  
 川端 春生  
 (旧姓 三橋)

向丘高校、三年間(昭和二十八年四月、昭和三十一年三月)の時代背景に触れてみた。

「昭和二十八年」NHKが二月に、日本テレビが八月にテレビ放映を開始した。受像機は一台二十万円、三十万円した高級品だった。当時は、駅前広場や電気店で放映し、街頭に黒山人のたかりになってプロレスを見ていた。



「君の名は」(S28)

映画「君の名は」上映、ラジオ放送で全国を風靡したメロドラマの映画化で、真知子巻きが大流行した。パチンコやマイジャンが流行し、ジャズが熱狂的に大流行した。音楽喫茶、ジャズ喫茶、歌声喫茶があちこちに店開きし、一杯のコーヒーで楽しめた。

「昭和二十九年」一円未満の小銭が廃止になった。営団地下鉄の内線・池袋・御茶ノ水間の営業開始。花菱アチャコの「むちゃくちゃでございませう」という言葉が大流行した。美空ひばり、雪村いづみ、江利チエミが三人娘で売り出した。

映画「七人の侍」がヴェネチア国際映画祭で銀獅子賞を受賞した。オードリー・ヘップバーンの「ローマの休日」が上映された。シャンソンやマンボのメロデーが街に流れた。

「昭和三十年」初のアルミ貨・一円玉が発行された(六月)。五十円ニッケル貨が九月に発行された。輸出ブームから神武景気が始まった。東京通信工業(ソニー)が、初のトランジスタラジオを発売した。その年に発表された平均寿命は、女六十八歳、男六十四歳だった。

映画「暴力教室」のテーマ曲「ロック・アラウンド・ザ・クロック」が空前の大ヒットとなった。マンボスタイルが大流行。

「昭和三十一年」第三十四回芥川龍之介賞は、「太陽の季節」石原博太郎が受賞。映画「太陽の季節」石原裕次郎主演が上映され、太陽族、慎太郎刈りが流行した。

エルビス・プレスリーの「ハートブレイクホテル」が大ヒット。

テレビの放映は、一億総白痴時代を招来すると言われた。暴力教室は、悪影響を及ぼすので子どもたちの入場を規制する騒ぎだった。政治

には触れなかったが、でも、平和な社会を目指して、夢も希望も一杯あった時代だったような気がする。



S 31年卒  
三田 昌男

48階建てカレッタ汐留紹介

汐留再開発地区は現在高層ビル建築の真最中です。交通の便も都営大江戸線汐留駅も出来、又JR新橋駅からも雨にもぬれず直かに行く事が出来ます。

昨年の十月には高さが二百メートル四十八階建ての電通本社ビル、カレッタ汐留の電通四季劇場「海」、汐留のアネックスビル、の三種からなっております。電通はテレビ、ラジオ、新聞等で日本一の広告会社ですが、私は昨年十月で定年、約一ヶ月しか新ビルに入る事が出来ず残念でした。築地の古い電通本社ビルから全方面ガラスでおおったしゃれたビルへ移りすばらしい景色が見える配置に驚かされました。

カレッタ汐留は「食に遊ぶ」をテーマに和・洋・中の選りすぐった味自慢のレストランやフアッション雑貨、書籍関係までくまなく網羅。新しい街のライフスタイルに合せた店舗があります。地下と四十六階・四十七階のスカイレストランには誰でも入る事が出来ます。その他の階は社員のオフィスで入館証がないと入れません。地下の食堂街より四十六階・四十七階のスカイレストランには直通のエレベーターで上ります。高速エレベーターはガラス窓に面しております、日本テレビや松下電工ビルが目に見えるます。その先に皇居も見えます。前に上った時は雨が降り上層階は霧で何も見えない時もありました。

エレベーターを降り反対側の展望台からの眺めは真下に浜離宮庭園が箱庭の様に小さく見えます。その左に大きな築地市場、右の方にはお台場やレインボーブリッジがよく見えます。晴

れた遠望のまき日には千葉のアクアライン等が見えて風景を色々楽しませてくれます。

今年の六月から来年にかけて多くの高層ビルが建ち並び、新宿の様なオフィス街が出来、五万人もの人口になると云う事です。今からどんな街になるか今から楽しみにしております。



S 32年卒  
櫻井 弘清

### 住基ネットに潜む恐ろしい

やよい会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてやよい十号にて私の住基ネットについて投稿させていただきましたが、住基ネットが平成十四年八月五日稼働を開始した。国民一人一人に番号(住民コード)を振り、氏名・住所・性別・生年月日の基本情報をコンピュータネットワークで、全国的、一元的、に管理、運用しようとするものだ。住民票コードとして私達に番号が付けられ、大量の情報を記憶できる住基カードも発行されるといことは、私達の情報が官により過剰に管理され、監視される危険も高める。将来、住民票コードをいわばマスターキーとして、私達のさまざまな情報、例えば税の捕捉に必要な所得や取引行為、社会保障の需給関係、教育歴、運転免許や車の所有などから、果ては犯罪歴、病歴にいたるまでの諸々の個人情報と結合され、番号一つで私たちの生活が丸裸にされるおそれがある。また住基カードは住民票の広域交付などのほか、福祉、公共施設利用、印鑑登録など、さまざまな目的で利用できるとされている。多くの住民がこれを持つことを事実上強いられかねない。

さらには、もつとも汎用的な身分証明書として活用され、国民がその携行を義務づけられる事態さえないとは言えない。実は私たちの私生活が公権力により常に監視され、その行動が記録される恐怖は決して将来の話ではなく、その一部はもう既に始りつつある。

国民がよく知らない間着々と歩みつつあるこうした監視国家への道と、住基ネットが繋がらない保証はどこにもない。便利さや安全のために。私たちはかけがえのないプライバシーや行動の自由をお上に譲り渡してしまっているのだろうか。人間の尊厳の観点から、住基ネットには根本的な疑がある。

### (簡略明瞭か?) 丸ことば



S 32年卒  
佐藤 一元是

折りに触れて、言葉の乱れがマスコミに取り上げられている。関連する書物も多い。言語学者ではないから学問的に考える力はないが、自分でもそんな言葉との出会いに気づくことがある。定年後の生活も五年目に入り、そのリズムも落ち着いて、巷間の事象を俯瞰する余裕ができたからなのだろうか。

多くの若者に使われている「丸文字」はご承知と思うが、自分のオリジナルの筆だから馴染みのない呼び名であろう。「丸ことば」を取り上げてみた。その典型と考えるのは、中高生に蔓延している「存じの」「ちょー(超)」である。「非常に」とか「大そう」の意である(それ以上「丸文字」との対比としてだけではなく、長い多音節の言葉の代わりに、短く「丸」めた単音節の言葉として使われているからでもある。「やっぱり」を「やっぱ」と言うのも同列にある。

長い文を短縮するのも、「丸ことば」の範疇に入る。あるマンションの垂れ幕に、「空室募集」とあった。「空室有り、入居者募集」を短縮したものと考えられる。「丸ことば」にすることによって、意味が変わってしまった例である。

更に、「ブレイク(break)」がある。TV(これも「丸ことば」である)では、タレントがその殻や壁を突破して人気が出ることなどに使っている。本来は「ブレイク・スルー(break through)」であり、使い始め

の頃はそのまま使われていた。しかし、何時の間にか「ブレイク」だけの「丸ことば」になっ  
てしまった。「ブレイク」だけでは、本人が「壊  
れ」たり、「衰え」たりする。これでは、人気の  
出よう筈はない。

一方、「携帯電話」の普及が目覚ましい。電  
車で、親指を使って何やら操作している姿をよ  
く見かける。そんな乗客の方が他の乗客より多  
いこともしばしばである。畢竟、利用したこと  
はないが、行きつけの理髪店の公衆電話は消え  
てしまった。

それはさておき、携帯するものには沢山の種  
類があるが、なぜに「ケータイ」という普遍的  
な呼称。「丸ことば」が定着してしまったので  
あろうか。「ケーデン」(携帯)ならば理解でき  
るのだが、これからの時代にも新しい携帯機器  
が生まれ続ける筈だが、それらにはどんな呼称  
が与えられるのだろうか。「ケータイ1」とか  
「ケータイ2」とかの番号付きになるのだろうか。  
それとも、「新」「新新」「新新新」と続いでい  
くのだろうか。気がかりではあるが、年齢的な  
ことからその結果を確かめることは難しい。

余談だが、「丸」と言えば、どこかの国の総  
理は「丸」投げが得意とされる。ゴルフの「丸  
山プロへの期待は大きい。

言葉は変化・変遷するものであり、それを否  
定しようとは思わないが、誤った使い方だけは  
避けたいものである。

私の半生・  
学童保育指導員として



S 52年卒  
関本 知恵  
(旧姓 国広)

学童保育をご存知ですか?  
保護者が働いていて、毎日の放課後や夏休み  
などの長期休みを一人で過ごす小学生達が毎日  
通う場所です。子ども達は友だちや指導員と遊  
び宿題、おやつ等をすませ保護者のお迎えを待  
ちます。今から四十年前位前に大阪・東京で当時  
「カギッコ」と呼ばれた子ども達の親が自主的に

開設したのが始まりでした。

私は埼玉県八潮市の公設民営つくしんぼ学童  
クラブというところで働いています。我が息子  
が小学生になる時、同じ団地に住む親たちが  
「学童保育を作ろう」という時に声をかけられ指  
導員として我が子と一緒に学童に通い始め、そ  
の息子もこの春高校を卒業しました。

「親たちのお迎えまでを部屋の中に入れてお  
くこと」が仕事ではありません。「継続した生活  
を送る事で生活力をつけていくところ」です。  
その準備には午前中から他地域の学童保育所の  
指導員と打ち合わせ、休日学習会に出席、夜間  
に子ども達の父母と話し合いをしたりと、結構  
ハードです。会議も二十二時までというのもざ  
らです。

それでもなかなか報われないものもあるの  
ですが、親たちと子どもたちの成長を違う角度か  
ら見て行け、そんな事業を行政の力を借り、親  
たちと事業計画をたて共同の子育て。仕事を持  
つ親たちが何処までできるかは毎年の課題です  
が、地域と交流できる時間の少ない親たちをつ  
なぎ、子どもの生活を守る。地域の子どもの違  
いについてもそこは子どもの避難所でもあり、遊び  
の発信基地となっています。私のような、タダ  
の主婦もきびしい労働条件の中、学童保育指導  
員という仕事にはまっています。私ひとりです。  
こんなすばらしい仕事を世間にもっと理解し  
てもらい、若い世代に交替できるように労働条  
件を作っていくことが現在の課題です。

もし、皆さんのお近くに学童保育所がありま  
したら……皆さんの税金で成り立っている施設  
です……。

是非是非訪ねてみませんか。きっと大歓迎さ  
れますよ。

遠き日の歌

(第一歌集「藍膏」より)

S 30年卒

棚瀬 妙子  
(旧姓 佐藤)

講義済みテラスに出れば青き陽が風をとまな

ひ我をつつみぬ

討論の興奮持ちて帰る夕べ金色の雲が空をかざ  
りぬ  
色のなき冬の校庭に舞ひ下る白き結晶の冷たき  
螺旋

「河は呼んでいる」口ずさむ夕べ蘇る君知りし秋  
枯を踏み踏みて来し足裏に蘇るもの裸足の幼  
女期  
(短歌を作りはじめて間もない頃の作品です。)

やよい俳壇

檜 紀代選 (S 31年卒)

栖む人の途絶えし村や花の雲  
森重 龍彦 (S 二十七卒)

春浅しジャムの小壘の蓋固し  
安河内(鷹見) 惠美子 (S 三十卒)

ときめきて目覚めて忘れ春の夢  
梶田(坂口) 仍美 (S 三十一卒)

花陰や花びら色の陽差しかな  
山本(福水) 越子 (S 三十一卒)

太陽も人も気付かず残る雪  
小沢(小林) 玉枝 (S 五十五卒)

檜 紀代吟  
春シヨール靡きやすくて恋ころ



S 31年卒  
山本 越子  
(旧姓 福永)

檜先生(旧姓安藤令子三十二年卒)をお招きし  
て始まった「沙羅の会」は本年六月七年目を迎  
えます。月一回の句会ですがまさに継続は力の  
例えとおおり、最近注釈をつけなくても解かる  
俳句(?)になってまいりました。楽しい会で  
す。お仲間になりませんか。

連絡先 Tel/Fax 03-3332-7489  
E-mail fwv5679@mb.infoweb.ne.jp

遠矢俳句「沙羅の会」ご案内

☆指導 檜 紀代 月間俳誌「遠矢」主宰

俳人協会幹事 NHK学園講師

☆場所 中央区立勝どき区民館  
Tel 03-3581-0592

都営大江戸線「勝どき」下車 A1出口すぐ

☆日時 毎月第2水曜日午後1時より

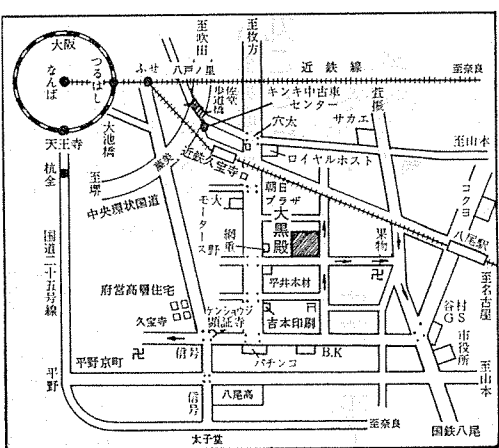
☆席題 当季3句 兼題 当日1句

☆会費 一五〇〇円(欠席投句も同じ)

計報  
S 28年卒 鈴木 弘  
(平成11年4月6日 享年65歳)



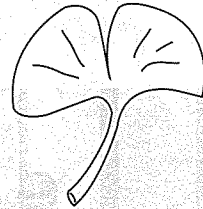
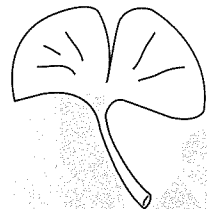
西日本大会担当者 高尾和子と会長





# 寄付者・会費納入者一覧

平成十四年度中に年会費・寄付金をお振込頂いた方々です。(順不同・敬称略)  
 ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。  
 尚、漏れがありましたらご連絡下さい。



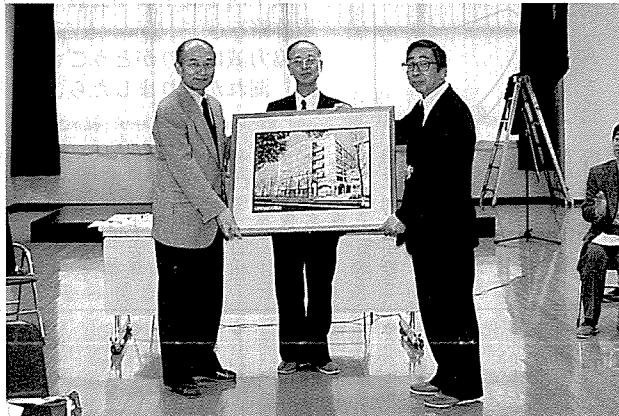
- 寄付者名一覧 (含会費)
- 谷藤 優子
  - 馬淵 努
  - ◆S46年卒 恩村 一郎
  - ◆S47年卒 粕谷 卓志
  - ◆S48年卒 尾崎 富雄
  - ◆S49年卒 岩本 光裕
  - ◆S50年卒 本多 和子(因分)
  - ◆S51年卒 池田利枝子(大西)
  - ◆S52年卒 田中 千晶(藤ヶ谷)
  - ◆S53年卒 小松原喜子(松島)
  - ◆S54年卒 高見 健二
  - ◆S55年卒 高見 節子(安原)
  - ◆S56年卒 高見 親史
  - ◆S57年卒 宇田 博子(堀)
  - ◆S58年卒 中嶋 武史
  - ◆S59年卒 金子 政弘
  - ◆S60年卒 兼島 孝
  - ◆S61年卒 江口 純子(興寺)
  - ◆S62年卒 宇佐美由美子(藤井)
  - ◆S63年卒 竹村 祥子
  - ◆S64年卒 会費納入者名一覧
  - ◆S65年卒 会沢 宏子(見崎)
  - ◆S66年卒 井上 早苗(阿部)
  - ◆S67年卒 角田 信子(潮田)
  - ◆S68年卒 小野ミイ子(小野)
  - ◆S69年卒 本多美代子(今井)
  - ◆S70年卒 鎌田 美子(佐々木)
  - ◆S71年卒 渡辺 信子(加藤)
  - ◆S72年卒 青木 敬(植木)
  - ◆S73年卒 大井 弘子(市川)
  - ◆S74年卒 幸田 俊子(岩田)
  - ◆S75年卒 児玉 恵子(児玉)
  - ◆S76年卒 小林美恵子(俣)
  - ◆S77年卒 小松美奈子(武藤)
  - ◆S78年卒 酒井美代子
  - ◆S79年卒 高木 和子
  - ◆S80年卒 津雲 真子(松田)
  - 舟橋 和子(荒川)
  - 松尾 和子(君川)
  - ◆S28年卒 井上 昌子(押田)
  - 岩松 英子(塚田)
  - 江山 昌子(豊田)
  - 江崎 美知子(高橋)
  - 黒川 涼洋
  - 五島 珠江(福)
  - 小川 裕子(足立)
  - 小松原喜子(松島)
  - 高見 節子(安原)
  - 高見 健二
  - 高見 親史
  - ◆S52年卒 宇田 博子(堀)
  - ◆S53年卒 早船七子
  - ◆S54年卒 堀 満彦
  - ◆S55年卒 松井 節子(福田)
  - ◆S56年卒 菜木 彩生(三井)
  - ◆S57年卒 種田 治重
  - ◆S58年卒 岩本 信一
  - ◆S59年卒 小熊 孝
  - ◆S60年卒 金子 節子(渡辺)
  - ◆S61年卒 橋島重洋子(佐野)
  - ◆S62年卒 篠崎 健次
  - ◆S63年卒 島田 重昭
  - ◆S64年卒 百野 啓介
  - ◆S65年卒 勅使川原義之助
  - ◆S66年卒 長沼 和子(島田)
  - ◆S67年卒 長井 広美(岡戸)
  - ◆S68年卒 平瀬 正枝(堀)
  - ◆S69年卒 三輪 良枝(薄井)
  - ◆S70年卒 山内 治雄
  - ◆S71年卒 山内 義雄
  - ◆S72年卒 濱口 春夫
  - ◆S73年卒 安住 芳子
  - ◆S74年卒 安河内恵美子(鷹見)
  - ◆S75年卒 大島 久子(鈴木)
  - ◆S76年卒 笹生 規子(下里)
  - ◆S77年卒 下里 和子(下里)
  - ◆S78年卒 長縄 信孝
  - ◆S79年卒 廣江 英一
  - ◆S80年卒 二木美津江(宮)
  - ◆S81年卒 北條昌子(仲沢)
  - ◆S82年卒 三浦 洋子
  - ◆S83年卒 山田 順一
  - ◆S84年卒 河合知恵子(新菜)
  - 天石 栄子(白鳥)
  - 梅田 光之(樋口)
  - 江尻 英子(若沢)
  - 大窪 英子(若沢)
  - 小川 力洋
  - 加藤 修生(三橋)
  - 川端 泰三(小川)
  - 小林 啓子(小川)
  - 佐藤 英治
  - 佐藤佐江子(森)
  - 鈴木よし子(瀧美)
  - 土屋よし子(山本)
  - 中島 徹
  - 中矢 崇之(麻藤)
  - 姫野千代子(近藤)
  - 深瀬 恒実
  - 増子 明美(若生)
  - 松澤 克世
  - 松澤 照子(亀井)
  - 水津 信雄
  - 三田 昌男
  - 村上 満男
  - 山崎 久信
  - 望月 和恵(新保)
  - 山本 越子(福水)
  - ◆S32年卒 鶴岡 美代(天竹)
  - ◆S33年卒 木谷とみ子(高岸)
  - ◆S34年卒 大河 紀男
  - ◆S35年卒 小西 圭子(城)
  - ◆S36年卒 櫻井 弘清
  - ◆S37年卒 白田 純康
  - ◆S38年卒 鶴岡 孝
  - ◆S39年卒 小林 清明
  - ◆S40年卒 津田 鈴木(木田)
  - ◆S41年卒 石山俊子(佐田)
  - ◆S42年卒 植山英次郎
  - ◆S43年卒 乙部たみ子(新名)
  - ◆S44年卒 川谷美津子(堀切)
  - ◆S45年卒 國府田美恵子(島田)
  - ◆S46年卒 佐藤 邦枝(高岸)
  - ◆S47年卒 田牧 純一
  - ◆S48年卒 千生田和紀(三浦)
  - ◆S49年卒 山崎 正紀
  - ◆S50年卒 上野美子(滝沢)
  - ◆S51年卒 河合知恵子(新菜)
  - 永澤 治子(山本)
  - 難波田久子(土井)
  - 朴澤美喜子(高木)
  - 三浦みさ子(江島)
  - 山本 一智(高橋)
  - ◆S36年卒 井上 洋子(高橋)
  - 海蓋 洋治
  - 奥村 誠
  - 片野 常雄
  - 片野 陽子(山縣)
  - 芝崎 陽子(利根川)
  - 関口 英郎
  - 田中 正明
  - 塚原 元昭
  - 寺尾ヒロミ
  - 野宗根博子(佐々木)
  - 松浦 宏道
  - 松浦 伍夫
  - 松山 勝英(井上)
  - ◆S37年卒 森 紳子(小澤)
  - ◆S38年卒 阿部多恵子(藤原)
  - ◆S39年卒 今村 春江(星)
  - ◆S40年卒 小黒 由明
  - ◆S41年卒 河原 正史
  - ◆S42年卒 小林 莊八
  - ◆S43年卒 杉浦 立子
  - ◆S44年卒 高野 泰佑
  - ◆S45年卒 坪井 光司
  - ◆S46年卒 寺村 進
  - ◆S47年卒 松原 伸高
  - ◆S48年卒 宮下 紀恵子
  - ◆S49年卒 飯山千枝子(萩原)
  - ◆S50年卒 海沼 裕子(小城)
  - ◆S51年卒 栗原 幸康(丸田)
  - ◆S52年卒 桜井 昭子(筒山)
  - ◆S53年卒 谷口 昭夫
  - ◆S54年卒 津田 節子(広瀬)
  - ◆S55年卒 宮沢 博子(興津)
  - ◆S56年卒 内沢 忠彦
  - ◆S57年卒 吉田 彰子(小野寺)
  - ◆S58年卒 大野美喜子(宮下)
  - 北田 照子(大山)
  - ◆S40年卒 小久保陽生
  - 秋山 浩一
  - 中島 重子(鳥)
  - ◆S46年卒 杉浦 恵子(須田)
  - ◆S47年卒 椎名 街子(須田)
  - ◆S48年卒 長谷川三枝子(原)
  - ◆S49年卒 斎藤 美子(青田)
  - ◆S50年卒 横田代志子(三谷)
  - ◆S51年卒 大村みどり(吉田)
  - ◆S52年卒 広瀬 文生
  - ◆S53年卒 伊藤 義則
  - ◆S54年卒 矢部 勝彦
  - ◆S55年卒 村林 紀子(川森)
  - ◆S56年卒 井村 忠
  - ◆S57年卒 野崎 照子(福井)
  - ◆S58年卒 川添泰子
  - ◆S59年卒 鈴木千賀子(池田)
  - ◆S60年卒 溝口 進一
  - ◆S61年卒 熊谷久美子(日高)
  - ◆S62年卒 吉田 恵子(田中)
  - ◆S63年卒 稲葉 美子(田中)
  - ◆S64年卒 武田 英子(大平)
  - ◆S65年卒 萩原加代子(松岡)
  - ◆S66年卒 川村佐知子
  - ◆S67年卒 尾道 郁代(大橋)
  - ◆S68年卒 渡辺 幸恵(岩水)
  - ◆S69年卒 佐古岡まどみ(畑中)
  - ◆S70年卒 菅川 千曉
  - ◆S71年卒 津川 和実
  - ◆S72年卒 佐藤 真美
  - ◆S73年卒 横山 正夫
  - ◆S74年卒 巴田 京子
  - ◆S75年卒 鈴木 裕司
  - ◆S76年卒 池ノ上政雄
  - ◆S77年卒 栗原 幸康(丸田)
  - ◆S78年卒 松坂 紀子(玉川)
  - ◆S79年卒 三好みち子(小林)
  - ◆S80年卒 宮沢 博子(興津)
  - ◆S81年卒 吉松 純
  - ◆S82年卒 坂爪 啓一
  - ◆S83年卒 門馬 宏子
  - ◆S45年卒 塩原 道夫
  - ◆S46年卒 小林 正夫
  - ◆S47年卒 中村恵太郎
  - ◆S48年卒 三池美恵子(朝倉)
  - ◆S49年卒 小林 里美(吉田)
  - ◆S50年卒 笹山 幸子
  - ◆S51年卒 荒井 昭雄(安藤)
  - ◆S52年卒 塩谷 啓子
  - ◆S53年卒 新谷 勝彦
  - ◆S54年卒 白野 弘子(小林)
  - ◆S55年卒 石井 洋子
  - ◆S56年卒 若山 孝之
  - ◆S57年卒 西沢 美穂(田坂)
  - ◆S58年卒 村林 紀子(川森)
  - ◆S59年卒 江上 恵子(江上)
  - ◆S60年卒 長谷川教子(高倉)
  - ◆S61年卒 上野美喜子
  - ◆S62年卒 野崎 早苗(加藤)
  - ◆S63年卒 栗原 泰子(成田)
  - ◆S64年卒 三輪 京子(成田)
  - ◆S65年卒 小野 節子(田上)
  - ◆S66年卒 佐々木郁子(遠野)
  - ◆S67年卒 矢島 明子(鈴木)
  - ◆S68年卒 荒井 隆
  - ◆S69年卒 柏 英明
  - ◆S70年卒 藤田美智子(関口)
  - ◆S71年卒 小林 弘明
  - ◆S72年卒 高根 優子
  - ◆S73年卒 高橋 淳
  - ◆S74年卒 関口多鶴子
  - ◆S75年卒 田中 伸幸
  - ◆S76年卒 高橋 祥子(田端)
  - ◆S77年卒 上野 一成
  - ◆S78年卒 鈴木 紀安
  - ◆S79年卒 永井すま子
  - ◆S80年卒 増田 幸康
  - ◆S81年卒 大西 頼子(田口)
  - ◆S82年卒 永井 恵美(真山)
  - ◆S83年卒 渡辺 久美
  - ◆S84年卒 山本 和実(馬場)
  - ◆S85年卒 古俣 広行
  - ◆S86年卒 古俣 洋美(佐竹)
  - ◆S87年卒 清水佳代子(富沢)
  - 伊藤 正
  - 三浦 美子(横田)
  - 関本 知恵(園田)
  - ◆S53年卒 杉田 裕美(遠藤)
  - ◆S54年卒 中村恵太郎
  - ◆S55年卒 小林 里美(吉田)
  - ◆S56年卒 中沢昌子(近藤)
  - ◆S57年卒 中田万恵子(若沢)
  - ◆S58年卒 吉田 敏子(岩山)
  - ◆S59年卒 吉田 令子(萩沢)
  - ◆S60年卒 白野 美穂(藤松)
  - ◆S61年卒 日高 泰仁
  - ◆S62年卒 石田 義和
  - ◆S63年卒 塚原 泰子(長岡)
  - ◆S64年卒 近藤 秀一
  - ◆S65年卒 鈴木 深香(福谷)
  - ◆S66年卒 池田みよ子(宮田)
  - ◆S67年卒 上田 千恵
  - ◆S68年卒 小沢 玉枝(小林)
  - ◆S69年卒 宮原 里美(鈴木)
  - ◆S70年卒 秋谷 純子
  - ◆S71年卒 木下 紀子(西川)
  - ◆S72年卒 兼子まゆみ(田中)
  - ◆S73年卒 佐藤 義弘
  - ◆S74年卒 小松さやか
  - ◆S75年卒 渡辺 晃代(早川)
  - ◆S76年卒 飯岡 明子
  - ◆S77年卒 小室 豊
  - ◆S78年卒 石井 康一
  - ◆S79年卒 旗野 秀昭
  - ◆S80年卒 藤澤 敬弘
  - ◆S81年卒 佐藤美穂子
  - ◆S82年卒 木下 玲子(川井)
  - ◆S83年卒 渡部信江(津村)
  - ◆S84年卒 石下 淑恵(栗田)
  - ◆S85年卒 荒井 昭雄(安藤)
  - ◆S86年卒 藤原 雅和
  - ◆S87年卒 山本 和実(馬場)
  - ◆S88年卒 古俣 広行
  - ◆S89年卒 古俣 洋美(佐竹)
  - ◆S90年卒 清水佳代子(富沢)
  - ◆日1年卒 田上みゆき(野沢)
  - ◆日2年卒 清水 希香(田下)
  - ◆日3年卒 野沢 智幸
  - ◆日4年卒 菅井 良樹
  - ◆日5年卒 奥山 一蘭
  - ◆日6年卒 小泉 匡
  - ◆日7年卒 鹿山敦比古
  - ◆日8年卒 武井美恵子
  - ◆日9年卒 本多 礼奈
  - ◆日10年卒 坂井 温子
  - ◆日11年卒 石塚 伸雄
  - 卒業年度不明者 島尻 由美
  - 〓お詫び〓 前年記載漏れ
  - ◆S29年卒 篠崎 健次
  - ◆日13年卒 本多 礼奈
  - 第12号(前号)の 会費納入者名中、 S46年卒の 笹山 幸子 岩本 一子(壽洲貴 中内 晃子 恩村 一郎 渡部信江(津村) 石下 淑恵(栗田) 荒井 昭雄(安藤) の皆様を S44年卒として掲載 訂正させていただきました。

# 総会・懇親会参加 各卓スナップ・アトラクション

(H14. 4 .21)



小川会長  
小野先生  
(前方)  
水町先生  
水山先生  
(後方)  
渡辺先生  
石井校長  
北村前校長  
清水教頭



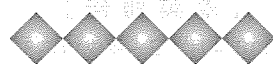
切り絵作家・稲葉氏作品(原画)を同窓会から学校へ寄贈



アトラクション東京マンドリン合奏団演奏風景



# 活動記録あれこれ...



ホームカミング参加者 (H14.9.29)



ホームカミング懇談会模様 (H14.9.29)



向陵祭生徒作品前 (H14.9.29)

## 合同旅行会

### 会員募集

■15年8月30日(土)~31日(日)

#### 宿泊先

塩原温泉

ホテルニュー八汐

TEL0287-32-5963

対象 会員等

#### 参加費

10,000円 一泊二食付

集合 JR田端駅北口(池袋寄口)

AM7:45~8:00発

送迎バス利用

催行人数 15名~20名

申込・メ切 先着順にて受け付けます。

7月末日までにお振込下さい。

振込口座 00110-9-538513

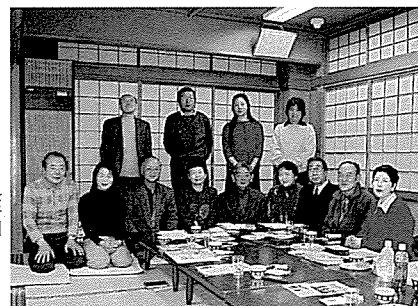
加入者名 都立向丘高校同窓会



左から  
田山 長山 石山 宮山 稲山  
中谷 川(美) 久保

山三 稲小 桜  
本 田 葉 川 井  
(イ)

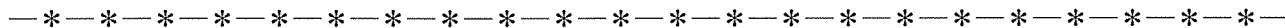
役員懇親会 (H14.10.23)  
於 銀座トコス



左から  
三宮 笹関  
田 久山 本  
保

梅佐 小尾 川山 稲桜 長  
田 々川 道端 本 葉 井 谷  
木

会報編集会議 (H15.3.13)



## 同窓会役員名簿

平成15(2003)年 3月31日現在

役職	氏名 (旧姓)	卒年	〒 住所	電話番号
顧問	石 章二郎	歴代校長		
〃	佐々木 益男	〃		
〃	新城 昇	〃		
〃	池 永武 昭	〃		
〃	北 村 透	〃		
〃	北 村 正生	〃		
名誉会長	石 井 隆夫	校長		
会長	小 川 力洋	31年卒		
副会長	三 田 昌男	31年卒		
〃	杉 浦 重治	40年卒		
会 計	尾 道 郁代 (大橋)	41年卒		
〃	長谷川 三枝子 (原)	41年卒		
書 記	山 本 越子 (福永)	31年卒		
〃	笹 山 幸子	46年卒		
〃	佐々木 郁子 (遠野)	47年卒		
会計監査	石 山 彼早子 (佐伯)	34年卒		
〃	寺 村 光司	37年卒		
幹事長	櫻 井 弘清	32年卒		
事務局	清 水 ゆかり	教 頭		
相談役	荒 川 雅司	30年卒		
〃	稲 葉 祐吉	30年卒		
〃	川 端 春生 (三橋)	31年卒		
〃	田 中 正明	36年卒		
〃	千 田 二仁江 (樋口)	59年卒		

【事業報告】

平成13年4月1日～平成14年3月31日

I 役員会(幹事会)

平成13年4月13日(金)
総会準備会および会計監査会を行う。
・北区東田端地域振興室
平成13年6月13日(水)
総会の反省点と次年度の催し物について
会議の上マンドリン演奏会に決定した。
・北区東田端地域振興室
平成13年12月13日(木)
やよい12号の企画会議とともに新年の計画を会議した。終了後忘年会を行った。
・銀座T.O.C.O.S

II 総会記念マンドリンコンサート開催

・母校6階ホール
平成12年4月29日(土)みどりの日
出演 飛鳥山マンドリンクラブ25名
会員、一般を含め150余名がナツメロその他、1時間ほどの演奏を観賞した。
切り絵作家「稲葉祐吉氏(同窓生)」
個展 同時開催
「チンチン電車の通る街」シリーズ
原画と支支シリーズを展覧、ご協力いただいた。

III 総会 懇親会

・母校6階ホール
平成13年4月22日(日)
参加者 90余名
橋本力・水町浩先生がご参加下さり、錦上華を添えてくださった。
特に昭和50年代卒業生によるフォークソンググループ(23名)のアトラクションに雰囲気盛り上がった。抽選会も人気を集めた。

IV 研究活動

- ① 平成13年4月13日(金)
会報11号の打ち上げ会と反省(含新幹事)
・北区東田端地域振興室
② 平成13年4月22日(日)
切り絵作家 稲葉祐吉氏が新校舎正面を切り絵に制作され同窓会とともに母校へ寄贈した。(やよい12号誌表紙)
③ 平成13年5月12日(土)～13日(日)
混成旅行会に役員が参加し塩原地方の探訪と研修にて親睦を深めた。
・塩原温泉ホテル
④ 平成13年6月13日(水)
総会、親睦会時の写真の整理、区分会
役員混成旅行会の写真の整理、区分会
・北区東田端地域振興室
⑤ 平成13年9月23日(日)
ホームカミング会を呼びかけていたが参加者極少数にて流会した。

V 会報関係

- 平成13年12月13日(木)
やよい12号の企画会議
・銀座T.O.C.O.S
平成14年1月26日(土)
やよい12号の編集会議
・北区東田端地域振興室
平成14年2月16日(土)
やよい12号の編集会議
・北区東田端地域振興室
平成14年3月13日(水)
やよい12号の初校友会
・小川事務所
平成14年3月17日(日)
やよい12号の二校友会
・北区東田端地域振興室

VI 渉外関係

平成13年4月9日(月)

- 母校入学式に小川会長列席
・母校体育館
平成13年5月19日(土)
PTA主催総会後の教職員懇親会に招かれ小川会長が出席した。
・母校6F多目的教室
平成13年6月4日(月)
母校運営連絡協議会副委員長に小川会長が指名を受け議事に加わった。
・母校会議室
平成13年9月23日(日)
母校向陵祭に小川会長ほか役員参観
・母校
平成13年10月2日(金)
学校運営連絡協議会に小川会長出席
・母校会議室
平成14年3月5日(火)
学校運営連絡協議会に小川会長出席し協議に参加した。
・母校会議室
平成14年3月6日(水)
母校卒業式
小川会長出席。来賓代表として祝辞を述べた。
・母校会議室
PTA、卒業生を祝う会に招かれ小川会長参列した。
・メトロポリタン

VII 振興助成

同期会(S32年卒)代表幹事桜井弘清氏の報告154名に対し助成した。
クラス会(S41年卒)代表幹事尾道郁代氏の報告53名に対し助成した。

VIII 慶弔関係

平成13年11月18日(日)
北村正生校長ご尊父逝去につき、小川・三田両名で葬儀に参列した。
・四つ木斎場

■平成13年度会計報告及び平成14年度予算案■

都立向丘高等学校同窓会
平成14年3月31日現在

Table with 3 columns: 13年度決算, 14年度予算案, and sub-headers for 収入の部 and 支出の部. Rows include items like 入会金, 年会費, 総会懇親会費, etc.

上記の通り収支報告申し上げます。

平成14年4月21日
同窓会会長 小川 力洋
会計 尾道 郁代 長谷川三枝子

監査の結果誤りの無いことを認めます。

平成14年4月13日
監査 石山彼早子 寺村 光司

昭和52年卒業(第29期、S33年・34年生)
同期会案内

日時: 2003年7月13日(土) PM 予定
場所: 未定(池袋を予定してます)
会費: 10,000円以内

出会いから30年やっとなんと自分振り返る年齢になりました。
当日はお世話になった先生方もご招待いたします。有意義な時間を過ごしたいと思っておりますので、お友達お誘いあわせの上ご出席ください。
(卒業生にはすでに葉書が届いていると思います。当時クラス担任でお世話になりました先生方には申し訳ありませんが、会場等決まり次第個別に連絡させていただきます。)

実行委員長 小高 久登
事務局 長 杉田 裕美 (旧2D遠藤)
TEL03-3971-4231 FAX03-3985-9519
e-mail k1h2y2@mtd.biglobe.ne.jp

あとがき

世情はブッシュ米大統領がイラクのフセイン大統領に向けて、48時間以内の亡命を3月18日に最後通告をした。拒否により遂に20日未明にはフセイン政権中枢や軍事施設を標的にした巡行ミサイル・トマホーク11発が10分間に発射され、実質的な武力行使となっていました。

3月12日(水)、母校では厳粛な内に整然なる卒業式が挙行された。体育館の後半部には全生徒の保護者と見られる多数のご参列があった。開式宣言が起立の状態で行なわれた後、国歌斉唱となるが、今年の着座生徒は15%程だった。例年の様に校長が壇に立ち、担任教諭からクラス毎に全員が呼名される。各級総代が壇上に入り卒業証書を受ける。降壇の際に、父母・先生方に向けて大声で、ありがとうございます。先生方に向けて大声で、ありがとうございます。先生方に感謝の気持ちを述べた。学校、友人への思いを涙ながらに礼を述べた長い答辞があり、実に感激させられた。
小川力洋記